

事業所名:グループホーム仰星台東郷

作成日:平成 23 年 1 月 16 日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	毎月モニタリングは実施しているが、計画の見直しは6ヶ月ごとに行っている。	計画の見なおしは3ヶ月ごとに行う。	12月より、3ヶ月ごとの見なおしに取り組んでいる。	1ヶ月
2	49	身体介護が重度な方は、施設敷地内で日光浴をする程度であり、散歩や外出がなかなかできない。	外出を楽しむことができる。	車椅子で近くのお店(Aコープ)へ本人のための買い物に行く。(平成22年12月より実施している) 故郷訪問を計画する。	5ヶ月
3	6	当グループホームは国道に面しており交通量も多い。外出傾向が強い対象者は、昼夜、天候に関係なく門の施錠を外そうとする行動が見られるため、安全を考慮すると門扉の開放は積極的になれないのが現状である。また、門扉を開放することで今行われている対象者の自由な行動が抑制されてしまうのではないだろうか。	安全第一を基準として、門扉が開放されている時間がある。	センサーの活用 対象者が歩行の手段としている歩行器に送信機を設置し無断外出に対処する。 職員の勤務体制に余裕がある時は連携をとり、門扉の開放に努める。 対象者が外出した時は門扉を開放しておく。	2ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。